

働きやすい職場づくりで次世代へ継承

1. (農)おきすの概要と中長期経営ビジョン

(農)おきすでは、主力メンバーの高齢化や集落人口の減少などによる担い手不足を背景に、R3年2月に働きやすくやりがいのある職場づくりで若い人材を呼び込めるように中長期経営ビジョンを策定。

経営理念『地域を愛し、地域とともに発展する』
主な中長期経営ビジョン

- (1)就業規則により他産業に遜色のない労働条件を明確化
- (2)組織のファンづくり
- (3)人と環境にやさしい農業への取組

【設立】H27年設立 【経営面積】75ha
【組合員】47名 【従業員】5名

2. 取組の概要

(1)就業規則により他産業に遜色のない労働条件を明確化

組織として定款の他、運営規程、就業規則、経理規程等12の規則・規程を整備、業務方針を明示。

就業規則

- 給料:月額制
- 勤務時間:8:00~17:00(うち休憩時間90分)
- 休日:週休1~2日、祝日、盆休、年末年始等
- 休暇:夏季、慶弔、育児介護等
- 定年:60歳
- その他:女性専用トイレ、休憩室の設置

(2)組織のファンづくり

空港道路沿いでのひまわり種まき体験と摘み取り園、秋の感謝祭等各種イベントを開催するとともに、「ひまわり通信」を定期的に発行。

(3)人と環境にやさしい農業への取組

環境負荷軽減に貢献できる農業生産を目指し、R5年から水稻の一部で有機的管理を開始。有機JAS認証取得を視野に入れ、アイガモロボットの稼働により除草を省力化。

代表者から一言



将来的には従業員を増やし、経営を拡大するためには、土地利用型作物と園芸品目をどのように組み合わせるのか、品目とローテーションを模索中です。

森脇 康博 代表理事組合長

3. 取組の成果

(1)5名の若手専従者を確保
50代1名、40代3名
20代1名の従業員を雇用。



5名の若手専従者

		主要従事者の平均年齢
ビジョン策定	前	68歳
	後	41歳

▲27歳

飯塚営農部長のこぼれ (写真右前)



結婚して斐川町住民となり約10年後、高齢者の畔草刈を頼まれたことが法人と関わるきっかけとなりました。
就業規則やGAPの整備により、営農組合が「普通の会社」になってきて、就職先として考えてもらえる組織になってきたように感じます。

(2)イベントを通じた地域住民、組合員、従業員の交流

各種イベントには、毎年多くの来場者で盛況。ホームページやSNSを活用したイベント告知や生産した農産物のレシピ紹介、組織の活動等を掲載しPRに努め、幅広い層のファンを確保。



年々リピーターが増え、(農)おきすの活動に関心を寄せる消費者が着実に増加。

(3)環境にやさしい農業の実現(Jクレジットの取組)

R6年度から温室効果ガス削減を目指す政府目標に沿った地球温暖化対策を実施。
「バイオ炭の農地施用技術」と「中干延長」の取組によるJクレジットの認証を受け、一定量の二酸化炭素削減を実施する団体として認可。

4. 課題と今後の取組方向

- (1)従業員を増やし、土地利用型作物の安定生産と更なる省力化及び新たな園芸品目の導入を並行し、儲ける農業の実現。
- (2)各種イベントを通じて、組合員、消費者、従業員が一体となり地域を盛り上げ、魅力ある地域づくりを实践。
- (3)環境にやさしい農業を实践し、消費者へ特色ある農産物を直接販売することで、生産者と消費者が一体となった地球環境維持を推進。

〈問合せ先〉東部農林水産振興センター出雲事務所
農業部 出雲地域振興第三課 0853-30-5601